

コニカミノルタが連結子会社の異動に伴う営業損失の計上を発表—今後の業績動向を注視

以下は、コニカミノルタ株式会社（証券コード：4902）が連結子会社の異動（株式譲渡）に伴う営業損失の計上を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

当社は26日、保有するMOBOTIX AGの全株式と同社への貸付金、並びにKonica Minolta Marketing Services Holding Company Limitedの全株式を譲渡することを決定したと発表した。これらは当社が中期経営計画（2023-2025）の中で、事業収益力の強化施策として進めてきた事業の選択と集中の一環として行われるものであり、本件を以って事業の選択と集中に関わる経営改革が完遂するとしている。今般の株式譲渡等により25/3期に200億円を超える営業費用が計上されることになるが、連結業績予想については本件以外の変動要因を含めて精査中としている。一方、経営改革の進捗により、26/3期の業績は回復が顕著になる見通しが示唆されている。JCRは25/3期業績の着地や26/3期以降の業績の方向性を確認し、格付に反映させていく。

（担当）関口 博昭・山口 孝彦

【参考】

発行体：コニカミノルタ株式会社

長期発行体格付：A 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル